

すわみつえ通信

No.136 2020年8月10日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

短い夏休みでも思いっきり楽しんでほしい

全国の小中学校で夏休みが始まりました。鴻巣市は8月1日から8月18日までの短い夏休みですが、子どもたちが家族とともに心ゆたかに過ごせることを願います。安心して2学期が迎えられるよう学校環境を整えるために力をつくしてまいります。



少人数学級実現に向けて運動が始まっています

「コロナ禍において、子どもたちの通う学校でも各地で新規感染が確認されました。学校は40人学級を基本にした教室の面積となっており、子どもたち一人ひとりが十分に間隔をとって行動ができるようなスペースにはなっていない。そこで、ソーシャルディスタンスを守るため、教室の広さに合った少人数学級を求めていくときではないでしょうか。」

を感じながら通学しています。心身のケアと学力の保証に、少人数学級実現が欠かせません。全国知事会等の政府への要請とともに署名運動が始まっています。

「一緒に広げていきましょう。」

7月中旬の通信で笠原小学校に関する動向の記事を掲載したところ、それ以降のアクセス件数が通常月の3倍になりました。ホームページに毎週の「すわみつえ通信(カラー版)」と「このす民報 議会報告版」を更新しています。「コロナ禍での情報収集のツールとして、見ていただけるように嬉しい限りです。」

すわみつえ公式ホームページのアクセス件数が3倍に

市に要望書を提出

日本共産党鴻巣市議団は、加藤久子・菅野博子議員と連名で8月7日に4回目となる「コロナ対策の要望書」を市に提出しました。

埼玉県では新規感染者が連日50名を超えるようになっていきます。鴻巣市においても感染者が相次ぎ、市民の間から感染の疑いがあった場合にどこで受診すればよいのか等々、新型コロナウイルス感染に対する不安が高まっています。

感染拡大防止の観点から次の項目を含め8項目を要望しました。

●医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員等への定期的なPCR検査を行うこと。

●公共施設利用に当たって人数が定員の半数に制約されているため、実質の使用料値上げにあたります。利用料の減免を行うこと。

吹上駅南口除草が完了



除草作業後



除草前

市に要請して1週間で除草が完了しました

俳句コーナー

コロナ禍に国会閉じて夏休み

多恵子

8月10日(月)から8月14日(金)まで駅での配布は行いません。

今回は、8月10日と8月17日の合併号です。8月17日(月)から通常どおり駅での配布を行います。

体内時計を安定させる生活の工夫

毎日同じ時間に就寝、起床

毎日一定時間を屋外で過ごす

毎日運動する。できれば同じ時間帯に

食事の時間も毎日同じがよい

人との交流を保つ。すぐ意思疎通できる方法が望ましい

昼寝はせず、夜の深い睡眠を確保する



体内時計を整えよう 心の安定維持のこつ

新型コロナウイルスの拡大で日常は大きく変化した。安定していた生活のリズムが乱れると、体内時計も影響を受けて心身の不快な症状につながる可能性があるという。

そこで体内時計と心の健康の関係に着目する二つの国際学会が、体内時計の安定に役立つ生活のポイントを紹介している。一言で言えば「健康的な日課を決め、それを守ろう」ということになる。まず就寝、起床は毎日決まった時間に。早寝早起きでなくても時間が一定していればよい。毎日一定時間を屋外で過ごす。ただし3密（密閉、密集、密接）になる場合は避けて、運動も毎日、できれば時間帯を固定して行う。食事の時間も決めておくとよい。この提言は多くの言語に翻訳されており、日本語訳は日本うつ病学会のホームページに掲載されている。（7月31日配信）【共同通信 8月7日付】

しんぶん赤旗 日曜版
8月9日・16日合併号

「核なき世界」 核保有国にも義務

1970年に発効した核不拡散条約（NPT）は第6条で、核軍備撤廃交渉を「誠実に」行うことを各国に義務づけています。

NPTの実施状況を議論するため、NPT再検討会議が5年ごとに開かれています。2000年の再検討会議で核保有国は「自国の核兵器の廃絶」を誓約。2010年の再検討会議では「核兵器のない世界の枠組みづくり」を合意しました。核兵器禁止条約未参加の核保有国や核依存国も、これらの公約を実行する義務があります。

原爆投下 必要なかった

しんぶん赤旗 8月7日付

米紙に歴史家寄稿

米紙ロサンゼルス・タイムズは5日、広島、長崎への原爆投下をめぐって、第2次世界大戦終結のために必要だったとする米国での通説に反論し、「米国の指導者たちは原爆を投下する必要はないと知っていた」と述べる歴史家らの寄稿を掲載しました。

寄稿は、歴史家のガー・アロペロピッツ氏と、ジョージ・メイソン大学のマーティン・シャールウィン教授の共著。全米各地に広がる黒人差別への抗議を念頭に「米国が過去をめぐめる多くの痛苦の側面を見直す時、1945年8月に日本の都市への核兵器の使用について、真摯な国民的対話を行う時だ」と訴えました。

日米の歴史資料から、「例えば原爆が投下されなくても、日本が1945年8月に降伏していたはず」の圧倒的な歴史的証拠がある

米大統領ら 知っていた

り、当時のトルーマン大統領および側近たちはそれを知っていたと指摘。米国の陸・海軍に当たった8人の最高幹部のうち7人が、「原爆は軍事的にも必要なく、人道的にも非難されるべき」と発言し記録されていると述べました。ドイツ・ポツダムでの会談（7月）時点でアイゼンハワー連合軍最高司令官（後の米大統領）は「日本は降伏の用意ができており、おぞましいものでたたく必要はない」と発言し、マッカーサー元帥も（原爆投下は）もったのほか」だと述べていたことなどが記されています。

寄稿文は、米科学誌が発表してきた「終末時計」が現在、1947年以来、最短となっていることに触れ、「同時計を進めることは、核時代の暴力的な始まりが過去のものではないことを思い起こさせている」と締めくくっています。

銚子電鉄

まずい棒



まずいです！
経営状況が...



ユーモアで難局乗り切れ！ 銚子電鉄

“まずい棒”販売 経営改善「頼みの綱」に

多くの人々に支えられ、廃線の危機を乗り越えてきた銚子電鉄（銚子市）。経営難を逆手に取って名付けたユニークなスナック菓子「まずい棒」は、同電鉄が運行する「お化け屋敷電車」の企画・演出を担当する怪談蒐集家（しゅうしゅうか）、寺井広樹氏が「ぬれ煎餅に続くヒット商品」と考案した。「経営状況がまずい・・・」に因んで『まずい棒』と命名。パッケージのキャラクターは漫画家、日野日出志氏が描画。サクサクとした食感で正直、美味しい。2018年8月3日（破産の日）より販売を開始し、好評で200万本を突破した。

「コーンポタージュ味」「チーズ味」「ぬれ煎餅味」「スーパーまずい棒」と順調に展開し、赤字削減に大きく貢献したが、新型コロナウイルスと昨秋の風水害の影響で乗客数が減少し、依然として予断を許さない状況が続いている。車両の老朽化も激しく、サビついた車体を見て竹本勝紀社長が思わず「わ、錆・・・！」と声を上げたことをきっかけに「わさび味」の販売に踏み切ることになった。発売は2020年10月を予定。

それに先駆けてチーズ味をリニューアルした「か〜るいチーズ味」を9月初旬から販売。8月28日より公開予定の映画「電車を止めるな！」の上映に合わせて発売開始となる。

銚子に行ったら電車運行のためスナック菓子「まずい棒」を買って下さい!!（オンラインショップでも購入できます。）

銚電救済!

新商品開発プロジェクト

